

第二日曜日は、
おおはさまへ

神楽の日

岳神楽

大償神楽

八木巻神楽

神楽公演日程

- 令和6年
 - 4月14日(日) 大償神楽
 - 5月12日(日) 岳神楽
 - 6月9日(日) 八木巻神楽
 - 7月14日(日) 大償神楽
 - 9月8日(日) 岳神楽
 - 10月13日(日) 八木巻神楽
 - 11月10日(日) 大償神楽
- 令和7年
 - 2月9日(日) 岳神楽
 - 3月9日(日) 八木巻神楽

《各日共通》 開場 10:00 / 開演 11:00
 休憩 12:00~13:00
 閉演 15:00頃

※都合により出演団体が変更されることがあります。
 ※会場内での撮影および録音や飲食はご遠慮ください。

■会場
花巻市大迫交流活性化センター
 岩手県花巻市大迫町大迫3-161 [早池峰ホール]

■入場料 当日券のみ **1,000円**
 ※小学生以下無料
 ※満席の場合は入場をお断りすることがあります。



後援：花巻市・花巻市教育委員会・花巻地方神楽協会

主催/お問い合わせ先：**大迫神楽の日実行委員会** [花巻市大迫総合支所内] TEL.0198-41-3122



上演神楽団体紹介

岳神楽



岳神楽が伝承されている岳地区は大迫の中心部から北東に17km。集落としては最も早池峰山の近くに位置します。

岳には早池峰の神を奉る早池峯神社があり、岳神楽はその奉納神楽です。地元では、神楽が下閉伊郡や宮古から法印(山伏)によって伝えられたともいわれていますが、資料が現存しないため伝承の由来は定かではありません。

昭和51年に大償神楽とともに「早池峰神楽」として、国指定重要無形民俗文化財(第1号)に指定され、平成21年9月にはユネスコ無形文化遺産に登録されました。

大償神楽



大償神楽の伝承されている大償地区は、岳より12kmほど下流、大迫の中心部からは約5km北に位置します。

地区内にある大償神社の奉納神楽です。早池峰山の開祖といわれる田中兵部が建立した田中明神の神主より大償の別当家へ伝えられたものといわれています。

昭和51年に岳神楽とともに「早池峰神楽」として、国指定重要無形民俗文化財(第1号)に指定され、平成21年9月にはユネスコ無形文化遺産に登録されました。

八木巻神楽



八木巻神楽が伝承されている八木巻地区は、大迫の中心部から東南に約10kmのところの位置します。

永禄7年(1564年)に熊野大権現を勧請した際に始められた神楽であると伝えられていますが、寛永19年(1642年)の大飢饉の後127年間活動が休止し、その後も2回ほど休止しました。

昭和7年(1932年)に熊野大権現を八雲神社と改め、旭の又神楽の指導によって神楽も復興し現在に至っています。

昭和51年に大迫町指定無形文化財(現在、花巻市指定無形民俗文化財)に指定され、令和2年4月には岩手県無形民俗文化財に指定されました。

会場・駐車場のご案内



大迫神楽の日一公式ブログ



<https://blog.goo.ne.jp/kaguranohi>

花巻大迫地域情報発信サイト



<https://oohasama.hanamaki.info>



Facebookでも情報発信をしています。

大迫地域中心市街地顔づくり委員会
Facebookページ



<https://www.facebook.com/oahasamakaodukuri>

花巻市
Facebookページ



<https://www.facebook.com/city.hanamaki>

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です